

牛群検定通信 No37

◇牛群検定成績の活用法がビデオ公開されています◇

ご好評頂いている牛群検定解説書「今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営！」(デーリィ・ジャパン社)が畜産経営支援協議会(事務局:中央畜産会)において、畜産経営活性化eラーニング事業の一環でビデオ化されました。Step 1 体細胞数編、Step 2 繁殖編、Step 3 ボディコンディションスコア編が、各20分程度で構成されています。検定成績表の活用方法を、栃木県畜産酪農研究センターや日本大学生物資源科学部博物館などでロケを行い、現場での応用を中心に解説してあります。

視聴に際しての資格等の要件はありません。Eメールアドレスを登録するだけで匿名でも視聴できます。是非ともご視聴ください。

URLアドレス <http://elearning.lin.gr.jp/>
または、畜産経営活性化eラーニング で検索してください。

「パソコンはちょっと……」という方は、ご連絡頂ければ、ご家庭のテレビで再生できるDVDを無料で送付します。

連絡先 03-5621-8921 家畜改良事業団電子計算センターまで

ビデオの概略(それぞれ約20分です)

Step 1 体細胞数編

体細胞数という検定情報は、乳質を管理するには欠かせないものです。しかし、体細胞数の情報を上手に活用すれば、乳質だけでなく様々なモニタリングに応用できます。例えば、ミルカーの扱い方などの搾乳テクニックに問題がないか、乾乳期や育成・ほ乳期の管理に問題はないか、牛床などの施設管理面に問題はないか、など様々な問題に応用できるのです。その応用方法をロケによる具体例で実演解説しています。

S t e p 2 繁殖編

検定成績表を利用すれば、繁殖管理は一目瞭然です。一口で繁殖管理といってもポイントはいくつかあります。例えば、分娩間隔が長期化しているとして分娩後初回授精が遅れているのか、発情発見が悪いのか、受胎率が悪いのか、原因は様々です。そして、仮に初回授精に問題があるのであれば、初回授精の遅れは子宮回復等の遅れを意味し、分娩前後の飼養管理に課題があることが多く、そこを改善しなければなりません。こういった一見複雑な繁殖管理をロケによる具体例で実演解説しています。

S t e p 3 ボディコンディションスコア編

ボディコンディションスコアは、人間のメタボと同じく牛の健康状態を把握するのに欠かせない管理技術となっています。本編ではボディコンディションスコアの判定方法を、牛の骨格標本まで遡ってその基礎となる考え方を示し、実際に過肥、普通、消瘦の生体を何例も使って判定方法をビデオで解説します。